

平成8年(1996年)4月1日発行

★新入生諸君への訓示

新入生の諸君、入学おめでとう。日本工業大学学長として心からの祝辞と歓迎の言葉を申し上げます。

大学案内に書かれているように日本工業大学の建学の精神は「体験学習」にあります。まず、実験・実習・製図を行い、続いて修得した知識を体系化する理論を学び、さらに実践を積んで学んだ理論を身に付けることを繰り返す、これが本学の長年実施してきた教育方針です。

「体験学習」は技術者の感性を身に付けた創造力を持つ人材の育成法として最も相応しいものと自負しております。技術者の感性は、ただ講義を受けても身につくものではありません。やはり機械や実験実習機器を自分で操作して体験学習しなければなりません。

そこで新入生諸君には本学付属の工業技術博物館の活用をお勧めします。そこには工作機械を主とした機械の発達史が一望できる形で動態展示されています。動態とはスイッチを入れれば動く状態にあるということです。一つ一つの機械の前に立つて納得のいくまで動作を観察して下さい。ガスタービンは大き過ぎるので動態展示はできませんが、動翼が見える形で展示されています。何

回も見に行つてガスタービンの動作の原理を理解することです。新技術開発の心構えは従来技術の要点を多数知ることにあるというではありませんか。機械系の学生に限らず工業技術博物館を十分に利用して、技術のノウハウを身につけて下さい。

旺盛な好奇心と異分野の視点を



日本工業大学学長 神馬 敬

大学で勉強するにあたって大切なのは、講義の内容を鵜呑みに暗記するのではなく、常に何故かと理由をかんがえることを習慣づけることです。大切なのは解答ではなく解答を求めるプロセス、方法です。学問の方法を身につけることです。常識に制約されることがなく、自分の殻に閉じこもらずに、見る物、聞く物を柔軟に受け入れ、これに対して積極的に自分の意見を述べ、行動しましょう。情報機器、パソコンの取り扱い方に関しては教える先生より学生諸君の方がずっと上達早いのは若者の持つ柔軟性の現れです。パソコンに限らず、色々な方面に若さの特権を活かして下さい。

変化の激しい時代に生きる諸君にとっては未来を大胆に予測し新しい事業を企画する能力と、これを実行するバイタリティーが要求されています。日本工業大学の学生は、自動車部がガソリン1リットルで走れる距離を競うホンダエコノパワール燃費競技全国大会において5年連続して首位を占める活躍をしているようにバイタリティーがあります。これに企画力を身につければ鬼に金棒でありましょう。

私は大学人でありながら研究開発の進め方について述べます。研究開発とは新しい物を見いだして育てることです。まず、テーマを見つけるには、何にでも飛びついてみる好奇心が重要です。飛びついた結果、何か面白いものに出会ったら、どうするか。次は、その周囲にもっと面白いものがないか探すことです。

これは一人で探すよりも、できれば、異分野の視点の異なる人々と協同する方が効果的です。アイデアが何倍にも拡大されて行くでしょう。関連する応用を徹底的に考察することです。研究開発の方向が定まったら後は努力あるのみですが、思ったような成果がなかなか出てこないのが研究開発です。

ここで「失敗は成功のもと」は嘘であるという私の恩師の言葉を紹介します。本当に失敗してしまつたら社会は相手にしてくれない。失敗しそうな前兆を察知して失敗を事前に回避しろ、というのが「失敗は成功のもと」の真の意味だということです。

諸君は日本工業大学で学ぶ期間は人生において体力知力ともに最も充実した時期に当たります。在学中は失敗を恐れずに経験を積んで企画力と実行力を身につけて下さい。大学は学問と研究の場でありますが、同時に人間交流の場でもあります。最近では人にも地球にも優しい

ということが製造業に要求されるようになりました。これは、働く人にとって快適であり、原料の資源採掘から製造、リサイクル工程まで含めて環境を汚染しない職場という意味です。本学には教育研究に経験の深い先生方がおられ、全国各地から集まった学生が学んでいます。多くの留学生もおります。クラブ活動やサークル活動にも積極的に参加して、いろいろな人々と交流を深めて人間の幅を広げ、人にも地球にも優しい技術者、研究者になって下さい。

社会に出てからの自信をつける意味でも在学中に各種の資格を取得されることを勧めます。諸君が希望すれば先生方も資格の受験勉強を応援して下さい。大学としても資格取得の奨励策を検討中です。

明年は日本工業大学の設立から数えて30周年、前身である東京工科大学の創設から数えると90周年の節目の年に当たりますので、各種の記念行事が計画されており、これに合わせて教育研究設備の整備が進んでいます。新入生諸君が、立派な教育研究設備をもつ日本工業大学において、生涯の師、生涯の友を得、技術者としての感性和研究開発の方法を身につけ、健康で実りある大学生活を送られることを願って、入学の日に際して私の言葉をします。

本年度の建築コンペの課題

「余暇農業のできる自然重視の住まい」に決定!

第十回、日本工業大学建築設計競技のテーマが「余暇農業のできる自然重視の住まい」に決まった。この課題の目指すものは、昨今、都会での生活にあきつた、余暇だけでも農業を楽しもうと考えている人びとが増加。たとえ生活拠点を都市近郊に移し、ウィークデーは都会で過ごし

はするものの、週末には自宅に帰って農業にいきなりライフスタイルの台頭にちなむ。無論このような暮らし向きを可能にする要因としてインターネットに象徴されるように、高度通信技術の著しい発展もある。従ってこの課題に挑むことは、太陽エネルギー利用などを含めて、いかに自然と人工的なものの調和を図って行くかが問われる。《災害に強い住まい》を課題とした昨年度は、実に三百三十八点もの応募があった。本年もまた、新たな時代にあふわしい生活空間を切り開くような多数の力作を期待したい。



本年度の審査には、宮坂修吉委員長、波多野純の両教授および楢井武一助教授が当たる。なお詳細な応募要項に関しては、教務課にお問い合わせ下さい。

ネパール仏教僧院 復原計画無事完了

本学の建築学科が一九九〇年以降、取り組んできた「ネパール仏教僧院(イ・バハ・バハ)復原計画」プロジェクトが、この三月末日、無事終了した。くだんの僧院は、首都カトマンズの南東に隣接した町パタンにあり、一四二七年創建。同一年に修復された。以来、調査団を送ること六回。が、単に調べるだけでは地元の人に役立たない。研究をさせてもらったお返しを、との藤岡学長の意思を継いで、一九九〇年秋より修復工事を決断。この度めでたく完成をみたというわけだ。

完成式典には大川理事長及び担当教授が列席したが、詳細については、次号でつまびらかに報告したい。

◆新入生(学部)へのオリエンテーション

4/4 (木)	10:30~	入学式	[体育館]
4/5 (金)	10:00~	共通系オリエンテーション (数学・物理・英語を除く)	[体育館]
	13:00~	共通系(数学・物理・英語) オリエンテーション	
	14:30~	各専門学科オリエンテーション	
		機械工学科 → [401]	
		電気電子工学科 → [3-325]	
		建築学科 → [2-375]	
		システム工学科 → [402]	
		情報工学科 → [103-B]	

4/6 (土)	9:20~	学生部オリエンテーション	[体育館]
---------	-------	--------------	-------

4/8 (月) 授業開始

◎大学院博士課程(前期・後期)

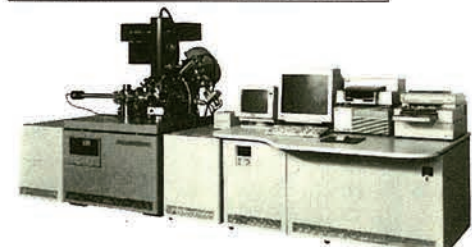
4/5 (金)	14:00~15:00	全体オリエンテーション (履修申告用紙、時間割等配布)	[情報工学科5階会議室]
	15:30~	機械工学専攻オリエンテーション	[3-221]
		電気工学専攻オリエンテーション	[3-224]
		建築学専攻オリエンテーション	[建築学科棟101]
		システム工学専攻オリエンテーション	[4号館3階48研]

※博士課程後期入学者については指導教授の指示に従うこと。

4/8 (月) 授業開始

半導体デバイスの評価、金属材料中の微小介在物の分析に!
最高の空間分解能……二次電子像 5nm、オーグエ分析 15nm

JAMP-7800F
FE形オーグエマイクロプローブ



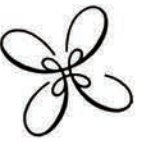
JAMP-7800F は高輝度熱電界放射形(TFE)電子銃を搭載した最高性能のオーグエマイクロプローブです。エミッタ直下にコンデンサレンズを構成する電界磁界重畳形FE電子銃の採用により、100nA以上のビーム電流を得ることが可能となりました。電子分光器は、オーグエ分析用に最適設計された多重検出器付の静電半球アナライザ(HSA)で、エネルギー分解能は勿論のこと、感度においてもCMAより優れています。

高分解能二重収束の機能を四重極形と同等の操作性で!
高感度(メチルステアレート30pg S/N≥10)、高分解能(5,000保証)

GCmateはルーチン分析の自動化を対象に設計・開発されたベンチトップタイプの高分解二重収束GC/MSです。分析計は、小形でユニークな二重収束光学系を基本に、精密質量測定と簡易操作を両立させています。さらに最新のOS(MS-Windows)を採用して、ビジュアルで高速・快適な操作環境を実現しています。すべてのオペレーションは、コンピュータコントロール化され全自動で行えます。

JMS GCmate
ベンチトップ二重収束GC/MS





自主的な学問・研究の 取り組みを期待

日本工業大学理事長——大川 陽康

新入生諸君、ご入学、まことに目度
とうございます。

まず私が第一に申し上げたい点は、本
学は来年の六月、創立九〇周年を迎え
ますが、諸君はこのような長い伝統に基
づく大学で、今後、学問や研究に取り組
むことに、ぜひ強い誇りを持っていただ
きたい、ということでありま。

ひとくちに九〇年と言いますが、その
裏には、わが国が近代化の道を歩みはじ
めた明治時代以降の工業発展の歴史と、
ほぼ重なる意味合いをもっています。ち
なみに本学には、その日本のエンジニア
リングの歴史を物語る、他の大学には類
例をみない「工業技術博物館」がありま
すが、その足取りに身体で
ふれていただければ、その九
〇年という歳月が、如何に
重みのあるものか、たちど
ころにご理解いただだけま
しう。

身体でふれていただく
言え、本学は九〇年前の
開学以来、「実学」……つま
り平たく言えば、体験学習
というものを根幹とした学問に一貫して
取り組んでおり、それが学園独自の「伝
統」となっております。しかし、伝統と
いうものは、言うまでもなく、連続とし
た日々の努力の積み重ねのうえに築き上
げられるもので、既成の枠内にとどまっ
ていては、その伝統も途切れてしまいま
す。したがって、私が諸君に強く望みた
いことは、体験学習という行き方を踏ま
えつつ、既成概念を突き崩すような学問
や研究に、積極果敢に取り組んでほしい
ということ。そしてそのことが、まさに
伝統というものの、また新たな厚みをも
たらすことになり得るのです。



さらにもう一つ私が強調しておきたい
事柄は、大学に入った以上、専門的知識
は当然のことながら、ぜひ人間としての
幅広い教養や国際性を身につけてほしい
ということでありま。そして、その方
法としてはクラブ活動に参加して、いわ
ゆる魅力ある人間づくりに励むのも一つ
の方法でしょうし、またアジア各国から
来ている多数の留学生たちと親しく学
び合うことも、将来への得難い滋養にな
るでしょう。

諸君、どうかこの恵まれた本学の環境
を思う存分に使って、学園生活を大いに
楽しんで下さい。

自主的思考の習慣を

機械工学科主任——柳沢 章教授



今日、晴れて日本工業大
学に入学された諸君に一言
申し上げま。最近の技術
教育の一つの大きな課題と
して、創造性を養う教育の
重要性が叫ばれています。
御存知のように、これま
での延長線上では技術国日
本は存立、発展していけな
い事は明白であり、創造性
に富んだ国造り、創造性に
富んだ技術立国がますます
重要課題となっていく事
でしょう。

活で多くは受け身の学習を
してこられたのではないかと
心配しています。先生の
提供する問題をひたすら消
化することが学習であると
考えられている方が多いの
ではと心配しています。
これからは、自分の頭脳
で、自主的に思考する習慣
を身に付けて下さい。大学
の講義を自ら消化して、血
や肉にして下さい。自分だ
けの何物かを創り出す喜び
を発見して下さい。そして
君自身の個性的な学生生活
を創造して下さい。
多分、受験勉強で擦り切
れていない君達には、創造
的潜在能力が最も期待でき
るのかも知れません。
諸君はこれまでの高校生

大いなる発展を

電気工学科主任——大久保勝弘教授



入学おめでとうございま
す。いよいよこれから諸君
の学生生活が始まるわけ
ですが、大学の四年間は諸君
の人生にとって非常に大切
な時期にあたります。最近
は大学院へ進学する人もか
なりふえてきましたが、大
部分は四年後には電気工学
や電子工学の専門分野へ若
い技術者として単立してゆ
くことになりま。この四
年間は、社会へ巣立つため
の重要な準備期間ですから
専門分野の勉強ばかりでな
ら願っています。

く、一個の人間として全
ての能力を積極的に鍛えるこ
とが必要になります。
例えば、学生時代に自分
で大きい目標を選んで、そ
の目標に挑戦してみても下
さい。勿論、目標は専門的電
気電子工学の中から選んで
もいいわけですが、できれば
それが人間のスケールを
大きくするのに役立つよう
なものであれば、なおよい
と思います。スポーツの不
得意な人が何か一種目を選
んで、そのクラブに入ると
か、将来の海外での活動を
考えて外国語をマスターす
るとか色々あると思いま
す。どうか始めてみて下さ
い。諸君の大いなる発展を心か
ら願っています。

勉強っておもしろい!?

建築学科主任——桑原 文夫教授



皆さんが入学する少し前
大学の卒業式がありました。
卒業生は口をそろえて「大
学最後の一年間は、それま
での三年分よりはるかに内
容の多い一年間でした」と
言っていて行きます。なぜ
でしょう。四年生になると
卒業研究を行うために研究
室に所属して、それこそ熱
中して研究に取り組ま
なせそのように熱中できる
のでしょうか。それは研究が
おもしろいからなのです。
つまらなかつたら、決して

あのように寝食を忘れるこ
とはできないでしょう。
我々教員もふだん研究を行
っています。何を隠そう、
あんなにおもしろいものは
ありません。大学に入学し
たばかりの皆さんにはまだ
理解できないかもしれませ
んが、学年を重ねるうちに
その雰囲気は分かってくる
と思います。
ほんとうは、卒業した後
の仕事もおもしろいからで
きるのです。また、そのよ
うな仕事を選ばなければい
けません。
大学の勉強も、全部でな
くてもよいから、何かおもしろ
いところを見つけてく
ださい。勉強するのには苦
なんて少しもありません。

大学時代を有意義に!

システム工学科主任——三宅正二郎教授



入学おめでとうございま
す。皆さんは日本工業大学に
入学してこれから工学を学
ぶことになりま。現在の
日本の経済的繁栄は株式や
土地の売買などの経済的行
為によるものではなく、科
学技術の成果であることは
明らかです。今後の日本の
繁栄が維持されるかどうか
はこの科学技術の水準が維
持できるかどうかにかかっ
ています。また、理学(科
学)が自然現象における真

理を追究するのに対し、工
学(技術)の目的は自然現
象を人間の役に立てるため
にあります。すなわち工学と
は人間のためにあり、人間
性あふれるものなのです。
是非、自信・誇りをもって
工学を学び、創造的な実現
力を身につけて下さい。
大学は高校までとは違い
自分で学ぶ所です。カリキ
ュラムとして準備されてい
るすべての教科が「科学技
術的な考え方」を修得する
うえで有意義です。「自分
の興味のあるもの」、「将来
役に立つもの」を友人、先
生に相談しながら自分で考
え、自分で学んでください。
大学時代を有意義に!

技術について

情報工学科主任——松田 郁夫教授



工学は人間にとって必要
な「もの」を作り出す技術
に関する学問であり、次の
ような二つの側面が考えら
れる。一つは、言葉で表現
された「体系化された知識」
であり、もう一つは、言葉
では表現できない「技術の
知恵・技能」である。かつ
ての日本における大学の工
学教育においては、「体系化
された知識」のみならず「技
術の知恵・技能」の側面も
取り上げられていた。この
ことが、今日の日本の技術

力の基礎を形成していると
考えられる。今日の、多く
の大学における工学教育に
おいては、「技術の知恵・技
能」の側面が失われつつあ
る。このことは、製造業の
基礎技術の一つである溶接
技術に着目すれば、明白で
ある。日本で生産される「パ
トリオット」の精度が米国
のものより優れていたのは、
溶接技術の差であると言わ
れている。ところが、先日
の「もんじゅ」の事故では、
溶接ミス、検査ミスなどが
指摘されている。これは「も
の」を作る基礎技術力の低
下を意味する。情報工学に
おいても、地味ではあるが、
基礎技術は大切である。

青春万歳!!

共通系学科主任——高本 研一教授



木の葉が落ちて暗く長い
冬に向うころ入学式のある
ヨーロッパの大学にくらべ、
万物の萌え出る春四月、新
たな一歩を踏み出すわが国
の制度はなんて素晴らしい
のだらうと、近ごろ思うこ
とがよくあります。
しかも一歩を踏み出す皆
さんは、青春の真只中にい
るのですから尚さらです。
青春の特権を十分にエンジ
ョイして下さい。
わが大学でも教養科が共
通系と名を変えたとともに

科目は全部選択制となり、
学生に選ぶ自由が大幅に与
えられました。
これまで一般教養は高校
の繰り返しではないかとの
批判の声がありましたが、
それがいくらかでも改善さ
れたと思いま。
皆さんは単位の取り易い
科目を効率よく取って、あ
とはクラブ活動なり、自分
の趣味に時間を割くのもよ
いでしょうが、高校にはな
い科目、難しいと思われる
科目にも、積極的に挑戦し
てみて下さい。そうするこ
とで物を見る目が違ってくる
はずで、易きにまよふこと
とは精神の怠惰にほかなら
ず、それは青春にもつとも
ふさわしくないからです。

入学おめでとう

機械工学科

電気電子工学科



KOKUYO

OFFICE INTEGRATION

これからのオフィスは単に人に優しいだけでなく、企業と人と社会の調和をも考えた空間づくりが必要です。
オフィスづくりをトータルに、新しい目で——。
これからのコクヨにご期待ください。

コクヨ株式会社 〒537 大阪市東成区大今里南6丁目1番1号 ☎(06)976-1221(大代)

HITACHI

日立のパソコン FLORAシリーズ



◎株式会社 日立製作所 ■お問い合わせは＝公共情報営業本部 TEL(03)5632-1111

建築学科

システム工学科

うつわ
器のはじまり



まだ道具も発明されなかった原始の時代に、
人類が初めて器にしたのは、ふたつの手のひらでした。
一滴の水もこぼしたくない、一粒でも多く木の実を持ち帰りたい。
そんな切実な思いで、大切なものを手のひらで優しく包み込んでいたのでしょう。
人が手の器に込めた願いは、今も吉野工業所のなかに生き続けています。
暮らしを優しく包みたい…。ヨシノは、大切なものを容れる器を
心をこめて、ひとつひとつ作りあげています。



モノの動きを元気にしている日本通運です



日本通運

川口支店

☎048-222-8611

© IYHN.

★海外研修募集!!

カナダ&ヨーロッパ

①英会話カナダ特別セミナー

カナダ特別セミナーの目的の第一は、ますます国際化が進むなか、そのコミュニケーション手段としての「生きた英会話」にふれること。第二は、当然のことながら、言葉の背景をなす生活や文化にふれること。ゆたかな「国際性」を育む点にある。

研修地は、美しい港湾都市として名高いカナダのバンクーバー市にあるUBC（ブリティッシュ・コロンビア大学）。当大学は、国内でも指折りの伝統を有する総合大学で、十二の学部を持ち、たいへん施設のととのった大学である。

授業プログラムは、午前中の三時間を一〇人程度のクラス編成で、カナダの歴史や地理をはじめとする科目を履修。指導はTESLの資格をもつ同大学の優秀な教員たちが担当し、まことに行き届いた授業がうけられる仕組みになっている。

また、この研修の特色は、市内のカナダ人家庭にホームステイして、直に異文化体験すること。理由は、その方法が言葉を理解する一番の方法だからだ。

ちなみに、当英会話カナダ特別セミナーは、一年生から四年生までを対象として行われる。奮って参加されたい。

②ヨーロッパ研修

ヨーロッパは、いわば近代の文化と科学技術のふるさと。従って、その地に体でふれることは、いろいろな意味で学問の取り組みに役立つ。

今回の研修地は、まず産業革命の発祥地で世界の金融市場の拠点と知られるロンドンが出発点。次いで東洋と西洋の境界であるトルコ・イスタンブールや、西洋文明の発祥地ギリシャのアテネを経て、神聖ローマ帝国の首都で十九世紀末文化が光り輝いたオーストリアのウィーンへ。

そして、音楽の町ザルツブルクからチューリッヒへ美しいアルプス連峰をながめながらの旅……。さらに今度はアルプスを越えてイタリアのミラノ・ヴェネチア・フィレンツェ・ローマといった歴史都市を参観して、今度は、あのガウディの建築で有名なスペインのバルセロナを訪れ、最後は「花の都バリ」を散策して帰国というコースをたどる。

従って、訪れる国は九か国・十二都市。それらの多様な文化の粹にふれることは、諸君の人生にかけがえのない「心の財産」になることは、疑いない。



フィレンツェのドゥオモと美しい街並み

た正規の英語授業科目。従って、参加者は二単位を取ることができる。

特別セミナー募集の概要は、左記の通り。

◆期間 八月十七日～九月一〇までの二十五日間。

◆費用 四十九万八千円。

◆募集人員 三〇人。

※なお説明会は四月十五日（月）、十七日（水）、十九日（金）の昼休みを利用して行われる。奮って参加されたい。

情報工学科

大学院工学研究科

●博士前期課程

●機械工学専攻

●電気工学専攻

●システム工学専攻

●建築学専攻

●博士後期課程

●機械工学専攻

●建築学専攻

●システム工学専攻



★平成8年度入学者

●工学部	
機械工学科	276名
電気電子工学科	276名
建築学科	256名
システム工学科	228名
情報工学科	150名
●大学院工学研究科	
＜博士課程前期＞	
機械工学専攻	11名
電気工学専攻	20名
建築学専攻	15名
システム工学専攻	24名
＜博士課程後期＞	
機械工学専攻	1名
建築学専攻	2名
システム工学専攻	1名

(3月27日現在)

●空調和・給排水衛生設備

未来を見つめる目



人の呼吸にもっと優しく

大成温調株式会社

〒140 東京都品川区大井1丁目47番1号
TEL.03-3774-1111(大代)

支店・営業所 青森・八戸・盛岡・秋田・山形・仙台・郡山・いわき・水戸・宇都宮・駒橋・大宮・千葉・川崎・横浜・甲府・新潟・長岡・金沢・静岡・名古屋・京都・大阪・神戸・広島・高松・福岡・長崎・鹿児島・那覇

技術研究所 〒134 東京都江戸川区東葛西2-3-4
TEL.03(3877)3770

横浜技術センター 〒226 神奈川県横浜市都筑区川内町806
TEL.045(471)1801



祝入学

オフィス進化論

im a g i o

M F - P s e r i e s

- 一度の操作でプリントをファクスする。
- 一度の操作でプリントをコピーする。
- コピー、ファクス、プリンター機能を一台で融合して使えるマルチ融合マシン誕生。

RICOH



問合せ先は… 埼玉リコー株式会社 MA営業部 ☎048-664-2215

部活の
すすめ

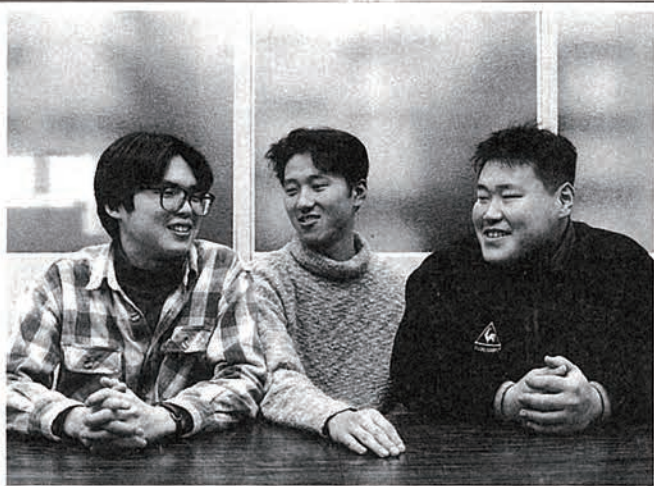
楽しく、個性に磨きを

今年も多くの新入生諸君を迎えた。だが君たちにとって、高校とは全く異なる環境のなかでの学園生活に、一抹の不安感もある。でも案外のことではない。この日本工業大学は、たいへん家族的で、かつ各クラブには、親身になって相談のつてくれる先輩が数多くいる。従って、そのクラブに入ってから活動に参加することは、君たちのキャンパスライフを豊かなものにしてくれよう。

人間としての魅力づくり

今年もまた、数多くの新入生を迎えるわけですが、まず、それぞれの立場からメッセージを。

鈴木 とにかく親が懸命に働いて貯めた金で大学に進学させてもらったわけですから、この四年間を有意義に過ごさなければいけない義務がある、と思う。で、有意義に過ごすというのは、大学に入った以上、身を入れて勉強するのは当然ながら、一方において、健康な身体づくりに気を配ること、ゆたかな精神を育てることではないか。従って、そういうものを身につけるためには、やはりクラブなり委員会に入って活動することが最良の方法なんですね。



左より富田、鈴木、阿久津の3君

に参加してほしいですね。鈴木君は入学してどんな部活を始めたの？鈴木 大学祭実行委員会ですが、その活動が楽しくて、すっかり虜になってしまった(笑)。で、その楽しいというのが、何物にも変え難いわけですね。阿久津 そう、その「楽しい」という点が大事なポイントなんですね。まあ体育会会長としての僕の立場でいえば、ぜひ何らかのスポーツクラブに入ってほしいわけですが、個人的体験に照らして、活動から得られるものが非常に大きい、と力説したい。いま鈴木君が言ったように、クラブに入ると、同級生だけの関係だけではなく、OBたちや先輩後輩などとの関係が必然的に生じてくる。従って、例えばある一つの仕方や目下の者に對する思いやりなど、人間として当然身につけるべきマナーが身にしみついてくる。で、そういう事というものは、社会に出てから絶対役立つように思っています。こう言っていると、何か肩ひじを張ったように思われ兼ねるが、皆でいいハーモニ

中央執行委員長
体育会会長
文化団体連合会会長
鈴木 康文
阿久津 健一
富田 明広

富田 僕が見るに、本當に学資のためにバイトをしている人は別として、いわゆる「遊び」のためにバイトをしている者が、案外多い。ですから、そういう連中に言いたいんですが、そんなヒマがあるのなら、クラブに入って皆でワイワイガヤガヤやって方が、よほど楽しいし、一度しかない学生生活を実感するものになるんじゃないか、という事です。

阿久津 僕はいまBJP、つまりジャズ演奏クラブに所属してサックスを吹いているんですが、皆でいいハーモニーをつくる事が楽しくて、それがいいですね。それから、もし就職時の面接で「学生時代に何をやってましたか？」と聞かれたとき、「アルバイトをやった」と答えると、話にならないと思うんですね。——「いゆる」「芸」というか、プラスアルファを持つていく方が、人間的魅力がある、と……。

富田 採用者側の人の目から見れば、多分そう写るんじゃないか、と思うんですね。というの、ただ勉強とバイトのみに明け暮れている連中は、僕らの目から見ても、何の魅力も感じませんからね。——ところで阿久津君の所属クラブは？阿久津 アメリカンフットボールです。で、チームプレー競技というのは、どれくらいかと思いますが、必ずしもポジションがあり、各々がその役割をきちんと果たさないと、いい結果が生まれないわけですね。

富田 一年生の時は五人祭実行委員会、何人？阿久津 一人です。五人祭から、たまたまで大学祭を切り盛りした時の充実感、は、大きかったですね。で、いま富田君が言ったように、先輩から「おまえよく気が利くよな」なんて言われると、もううれしくて、活動に張りが出るんですね。

学際的に学べるメリット

富田 十七名。そして春日部の市民ホールと東京の小さな会場を借りて、年に一回ずつの定期演奏会をもっているんです。そんな際に先輩たちから「よかったよ」なんて褒められる時の喜びは、格別ですね。

鈴木 一年生の時は五人祭から教えられたり励まされたりする点もさることながら、クラブには他学科の連中も集まっているから、横の交流も面白い。例えば、大学祭で演奏する際、舞台のバックに雰囲気をつくるための絵がほしいですね。でも僕はデザイン学科だし、機械や電気の連中も、あまり背景画を描くのは得意じゃない。でも建築学科のヤツは、さすが芸術的なセンスも持ち合わせているから、立ち所に見栄えのする舞台背景を仕上げてもらう。

富田 僕らジャズクラブだから、これは一例だけれども、物の見方や考え方で、非常に触発される点が多い。——横のつながりといえ、部活をやっていると、そういう学内の関係だけでなく、他大学の学生たちとの交流から得る点も多いでしょう？阿久津 ああ、体育会系は、それが非常に多い。僕は関東の大学の三部に所属しているんですが、そのリーグ戦には名城大学、電気通信大学、和光大学、白鷗大学などが参加します。そして、試合もさることながら、時おり運営に関するミーティングもやる。で、そんな時に、「心の交流」というか、学内では得られない幅のある刺激がありますね。(聞き手 企画室 櫻井)



女子のバスバンド部員



練習の合間に談笑するラグビー部員

◎クラブリスト

括弧内は顧問教師
およびキャプテン

- ◆体育会所属団体
 - ◆アーチェリー部(高橋篤夫教授(E)/林晋一郎(AIII))
 - ◆アメリカンフットボール部(酒井誠助教授(G)/白鳥賢一(EIV))
 - ◆ウエイトリフティング部(松本繁教授(G)/飯島幸紀(SIII))
 - ◆応援団(窪田英毅助教授(M)/真野義幸(SIV))
 - ◆空手道部(竹内淳彦教授(G)/大槻和則(MIII))
 - ◆剣道部(高橋雅充講師(A)/大野圭哉(MIII))
 - ◆硬式野球部(佐藤茂夫助教授(M)/佐々木俊一(SIII))
 - ◆硬式野球部(北後寿教授(A)/茂木利彦(SIV))
 - ◆ゴルフ部(松田郁夫教授(C)/木南和彦(EIV))
 - ◆サッカー部(城戸卓男助教授(G)/森下直貴(EIV))
 - ◆射撃部(石田之則教授(E)/佐藤勇武(SIII))
 - ◆柔道部(大森信明講師(G)/小田代貴彦(AIV))
 - ◆少林寺拳法部(大久保勝弘教授(E)/池田竜磨(AIV))
 - ◆体操競技部(小林勉教授(G)/高橋進(AIV))
 - ◆卓球部(藤崎雅彦講師(G)/瀧勝正(MIV))
 - ◆軟式野球部(岩間利輝講師(A)/鈴木徹(SIII))
 - ◆日本拳法部(三宅正二郎教授(S)/梅木友幸(AIV))
 - ◆バスケットボール部(橋本英哉助教授(G)/富樫真盛(MIV))
 - ◆バドミントン部(青木収講師(C)/千田隆広(EIII))
 - ◆ハンドボール部(中島克典講師(G)/小沼満(SIII))
 - ◆ハンドボール部(伏見恒夫講師(M)/小坂晃(SIV))
 - ◆ボディービル部(末定伊東宏典(SII))
 - ◆ヨット部(宮坂修吉教授(A)/関根幸男(SIV))
 - ◆ラグビー部(塚林功助教授(G)/山田鉄他(AIV))
 - ◆陸上競技部(桑原文夫教授(A)/高橋輝信(SIV))
 - ◆ワンダーフォーゲル部(鈴木康之助助教授(G)/森茂隆文(SIV))
 - ◆弓道部(有賀幸則助教授(M)/福田有之(SIII))
 - ◆スキー部(酒井茂紀教授(M)/甲斐輝雅(EIV))
- ◆文化団体所属
 - ◆ハンク・グライダークラブ(横谷真一郎教授(M)/新井元和(MIII))
 - ◆無線部(丹羽次郎講師(C)/塚本大輔(EIII))
 - ◆BJPフットボール部(ジャズ・サークル)山岸嵩(G)/池田和仁(MIII)
 - ◆モダン・フォークソング・クラブ(伊藤藤一教授(A)/服部貴之(SIII))
 - ◆写真部(堀田勝喜教授(E)/寺内正和(EIII))
 - ◆自動車部(小倉勝教授(M)/相馬崇(MIII))
 - ◆第三文明研究会(伊原征治助教授(S)/方波見哲雄(MIII))
 - ◆ユース・ホステル・クラブ(高橋篤夫教授(E)/熊本智洋(SII))
 - ◆美術部(大岸文夫講師(A)/根岸利行(AIII))
 - ◆新建築デザイン研究会(宮坂修吉教授(A)/佐藤明(AIII))
 - ◆芸能研究倶楽部(伊藤隆教授(G)/難波宏行(SIII))
 - ◆ロック・フィル部(玉木保教授(M)/渋谷一行(EII))
 - ◆マイクロコンピュータ研究会(片山滋友教授(C)/酒井浩司(EIII))
 - ◆放送研究部(片山滋友教授(C)/塚本智行(EIII))
 - ◆コミックイラスト研究部(中村洋一教授(S)/竹川裕(EIII))
- ◆自主サークル
 - ◆SL同好会
 - ◆ツーリング同好会
 - ◆韓国留学生会
 - ◆ライトスポーツクラブ
 - ◆超イラスト研究会
 - ◆クラシック音楽同好会
 - ◆地域研究会
 - ◆シュミレーションゲーム研究会
 - ◆ソフト同好会
 - ◆中華民国同好会
 - ◆自転車サークル
 - ◆オールラウンド・ミステリーサークル
 - ◆ブレイヤーズ
 - ◆RPGサークル
 - ◆ボーリング同好会

★(注) MII機械工学科/EII電気電子工学科/AII建築学科/SIIシステム工学科/CII情報工学科

